

知事記者会見

新型コロナウイルス感染症への対応について

令和4年2月2日

新規感染者数の推移

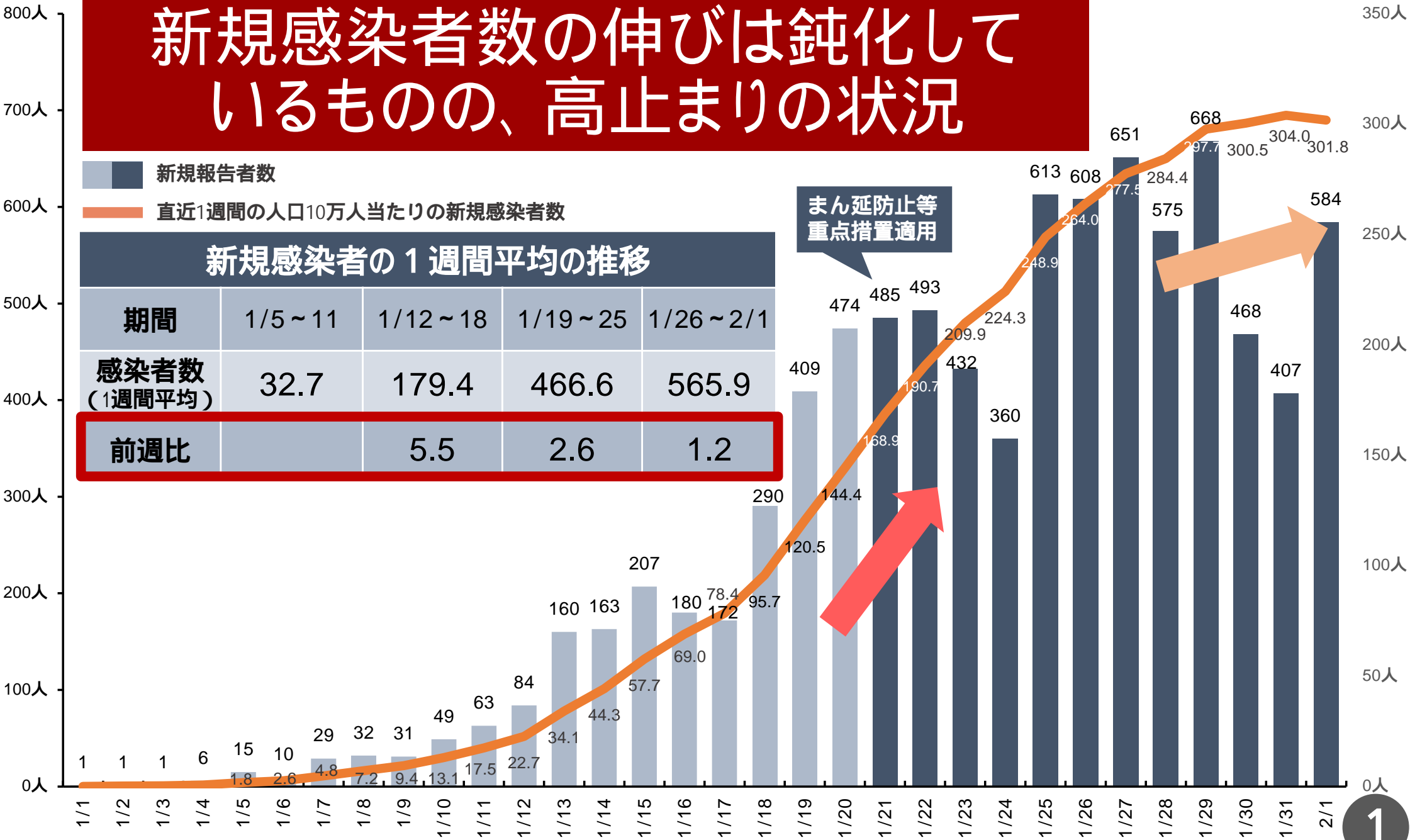
新規感染者数の伸びは鈍化しているものの、高止まりの状況

■ 新規報告者数
 〇 直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数

新規感染者の1週間平均の推移

期間	1/5 ~ 11	1/12 ~ 18	1/19 ~ 25	1/26 ~ 2/1
感染者数 (1週間平均)	32.7	179.4	466.6	565.9
前週比		5.5	2.6	1.2

まん延防止等
重点措置適用



県内の感染状況等について

病床使用率は医療圏毎に以下の数値に基づき算出

上段 ...緊急時病床数：561床（長崎：199床、佐世保：134床）
 （下段）...最大確保病床数：440床（長崎：152床、佐世保：98床）

2/1公表時点

県全体	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
病床使用率（ ）	16.4% (20.9%)	18.7% (23.9%)	19.4% (24.8%)	20.3% (25.9%)	23.2% (29.5%)	23.2% (29.5%)	24.8% (31.6%)	26.9% (34.3%)	26.9% (34.3%)	27.5% (35.0%)	28.0% (35.7%)	30.5% (38.9%)	33.2% (42.3%)	35.5% (45.2%)	34.8% (44.3%)	33.0% (42.0%)	35.1% (44.8%)	36.2% (46.1%)
新規感染者数 (10万人/週)	207人 (57.7人)	180人 (69.0人)	172人 (78.4人)	290人 (95.7人)	409人 (120.5人)	474人 (144.4人)	485人 (168.9人)	493人 (190.7人)	432人 (209.9人)	360人 (224.3人)	613人 (248.9人)	608人 (264.0人)	651人 (277.5人)	575人 (284.4人)	668人 (297.7人)	468人 (300.5人)	407人 (304.0人)	584人 (301.8人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)	62.0人	74.4人	84.7人	104.9人	132.3人	165.0人	196.3人	227.1人	250.3人	268.6人	301.5人	329.6人	362.8人	388.2人	403.6人	425.6人	406.8人	434.8人

長崎市	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
病床使用率（ ）	18.1% (23.7%)	20.6% (27.0%)	19.1% (25.0%)	19.1% (25.0%)	25.1% (32.9%)	21.6% (28.3%)	23.6% (30.9%)	25.6% (33.6%)	29.6% (38.8%)	30.7% (40.1%)	26.6% (34.9%)	30.2% (39.5%)	33.7% (44.1%)	41.7% (54.6%)	39.2% (51.3%)	35.2% (46.1%)	35.7% (46.7%)	36.2% (47.4%)
新規感染者数 (10万人/週)	73人 (55.2人)	56人 (64.8人)	89人 (80.4人)	60人 (91.7人)	155人 (126.1人)	176人 (159.4人)	185人 (194.1人)	155人 (214.1人)	183人 (245.2人)	167人 (264.2人)	209人 (300.6人)	242人 (321.9人)	181人 (323.1人)	251人 (339.3人)	191人 (348.1人)	129人 (334.9人)	196人 (342.0人)	162人 (330.5人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)	60.6人	71.1人	87.3人	99.0人	133.2人	172.3人	211.7人	241.5人	269.6人	293.8人	341.2人	371.3人	408.4人	465.4人	455.6人	483.2人	472.0人	477.1人

佐世保市	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
病床使用率（ ）	27.6% (37.8%)	31.3% (42.9%)	34.3% (46.9%)	41.0% (56.1%)	41.8% (57.1%)	42.5% (58.2%)	38.8% (53.1%)	45.5% (62.2%)	36.6% (50.0%)	38.8% (53.1%)	39.6% (54.1%)	41.0% (56.1%)	45.5% (62.2%)	47.0% (64.3%)	48.5% (66.3%)	50.0% (68.4%)	50.7% (69.4%)	56.0% (76.5%)
新規感染者数 (10万人/週)	72人 (105.3人)	69人 (131.2人)	33人 (141.8人)	114人 (173.9人)	102人 (202.7人)	121人 (229.8人)	109人 (254.9人)	164人 (292.7人)	102人 (306.3人)	75人 (323.6人)	185人 (352.8人)	135人 (366.3人)	190人 (394.7人)	131人 (403.7人)	218人 (425.9人)	159人 (449.4人)	72人 (448.1人)	163人 (439.1人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)	106.9人	133.6人	143.5人	187.5人	219.6人	259.0人	295.6人	348.7人	381.1人	400.0人	467.1人	515.6人	530.4人	531.6人	603.2人	663.6人	611.4人	672.2人

			県レベル0	県レベル1	県レベル2		県レベル3	県レベル4
					県レベル2 -	県レベル2 -		
指標	病床使用率	病床全体		10%以上 (56床以上)	20%以上 (112床以上)	35%以上 (196床以上)	50%以上 (280床以上)	100%以上 (561床以上)
		重症者 用病床		10%以上 (4床以上)	20%以上 (8床以上)	35%以上 (14床以上)	50%以上 (20床以上)	100%以上 (40床以上)
参考指標	新規感染者数			98人/週 以上 (14人/日以上) (7.38人/10万人/週)	196人/週 以上 (28人/日以上) (14.7人/10万人/週)	343人/週 以上 (49人/日以上) (25.8人/10万人/週)	490人/週 以上 (70人/日以上) (36.9人/10万人/週)	994人/週 以上 (142人/日以上) (74.9人/10万人/週)
	療養者数 (入院+宿泊+自宅)			145人/日 以上 (11人/10万/日以上)	290人/日 以上 (22人/10万/日以上)	509人/日 以上 (38人/10万/日以上)	727人/日 以上 (55人/10万/日以上)	1,457人/日 以上 (110人/10万/日以上)

入院医療の状況について

2月1日公表時点の入院患者数と病床使用率(医療圏別)

上段 ... 緊急時病床数
(下段) ... 最大確保病床数

医療圏	長崎	佐世保 県北	県央	県南	本土 計	五島	上五島	壱岐	対馬	合計
入院 患者数	72	75	25	24	196	-	1	4	2	203
病床数	199 (152)	134 (98)	92 (69)	43 (35)	468 (354)	25 (23)	19 (17)	22 (21)	27 (25)	561 (440)
病床 使用率	36.2% (47.4%)	56.0% (76.5%)	27.2% (36.2%)	55.8% (68.6%)	41.9% (55.4%)	0.0% (0.0%)	5.3% (5.9%)	18.2% (19.0%)	7.4% (8.0%)	36.2% (46.1%)

フェーズ	緊急時(レベル1)	—	1	4	4	1	—
------	-----------	---	---	---	---	---	---

入院患者：重症0名、中等症・軽症203名

宿泊施設療養者：220名 自宅療養者：4,099名 調整中：993名

回復者数：9,069名

(その他：191名)

死亡者数：77名(80代以上が約7割)

全感染者数：14,852名

市町別発生件数(1/1~2/1 公表分)

市町名	感染者数	発生割合	10万人/週
長崎市 (409,118人)	3,054人	35.0%	330.5人
佐世保市 (243,223人)	2,410人	27.6%	439.1人
島原市 (43,338人)	282人	3.2%	413.0人
諫早市 (133,852人)	941人	10.8%	295.1人
大村市 (95,397人)	537人	6.2%	262.1人
平戸市 (29,365人)	127人	1.5%	132.8人
松浦市 (21,271人)	69人	0.8%	145.7人
対馬市 (28,502人)	10人	0.1%	17.5人
壱岐市 (24,948人)	92人	1.1%	180.4人
五島市 (34,391人)	16人	0.2%	14.5人
西海市 (26,275人)	36人	0.4%	72.3人

市町名	感染者数	発生割合	10万人/週
雲仙市 (41,096人)	148人	1.7%	192.2人
南島原市 (42,330人)	137人	1.6%	160.6人
長与町 (40,780人)	280人	3.2%	375.2人
時津町 (29,339人)	187人	2.1%	323.8人
東彼杵町 (7,721人)	95人	1.1%	272.0人
川棚町 (13,377人)	59人	0.7%	269.1人
波佐見町 (14,291人)	74人	0.8%	195.9人
小値賀町 (2,288人)	1人	0.0%	0.0人
佐々町 (13,912人)	144人	1.7%	661.3人
新上五島町 (17,503人)	22人	0.3%	5.7人
県全体 (1,312,317人)	8,721人	-	301.8人

市町別発生件数の推移

レベル毎の指標

1	2-	2-	3	4
7.38人～	14.7人～	25.8人～	36.9人～	74.9人～

1月21日(重点措置開始時点)と2月1日の比較

	10万人/週		/	
	1月21日	2月1日		
長崎市	194.1人	330.5人	1.7	↑
佐世保市	254.9人	439.1人	1.7	↑
島原市	73.8人	413.0人	5.6	↑
諫早市	202.5人	295.1人	1.5	↑
大村市	145.7人	262.1人	1.8	↑
平戸市	187.3人	132.8人	0.7	↓
松浦市	112.8人	145.7人	1.3	↑
対馬市	17.5人	17.5人	1.0	→
壱岐市	80.2人	180.4人	2.2	↑
五島市	11.6人	14.5人	1.3	↑
西海市	22.8人	72.3人	3.2	↑

	10万人/週		/	
	1月21日	2月1日		
雲仙市	94.9人	192.2人	2.0	↑
南島原市	52.0人	160.6人	3.1	↑
長与町	115.3人	375.2人	3.3	↑
時津町	139.7人	323.8人	2.3	↑
東彼杵町	362.6人	272.0人	0.8	↓
川棚町	67.3人	269.1人	4.0	↑
波佐見町	181.9人	195.9人	1.1	↑
小値賀町	43.7人	0.0人	0.0	↓
佐々町	165.3人	661.3人	4.0	↑
新上五島町	62.8人	5.7人	0.1	↓
合計	168.9人	301.8人	1.8	↑

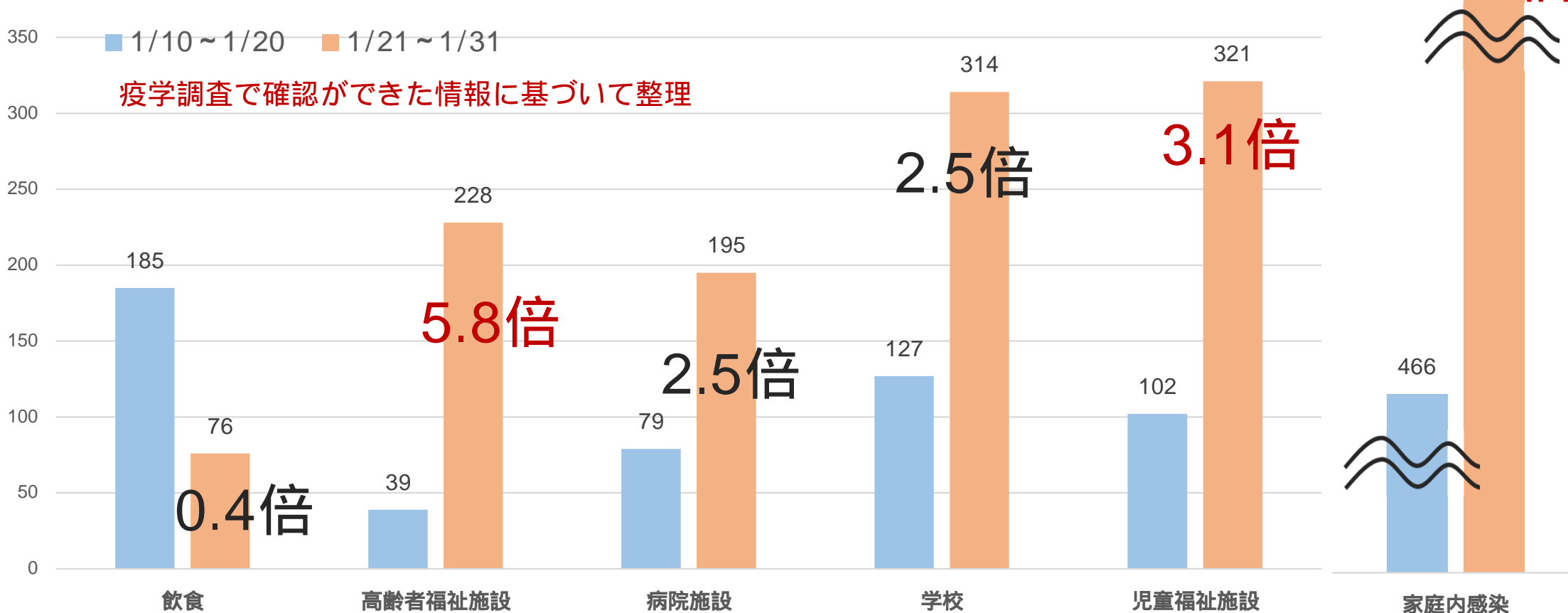
県内の多くの市町において感染が拡大している(16市町が拡大)

感染状況の推移

まん延防止等重点措置

以前（1/10～1/20）と
以降（1/21～1/31）の11日間比較

高齢者・児童福祉施設や学校、家庭内で感染が拡大

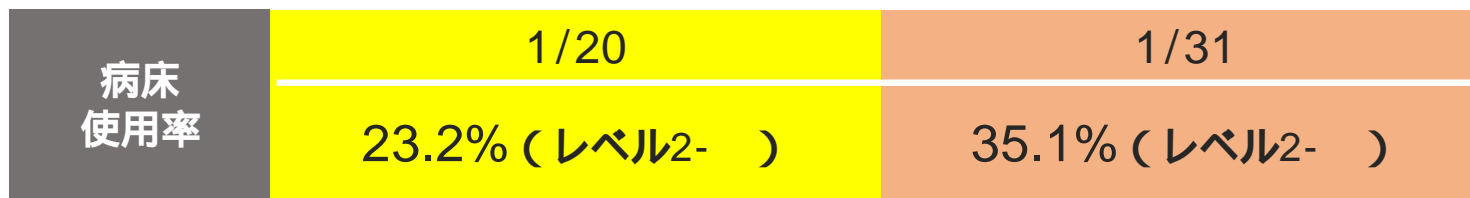
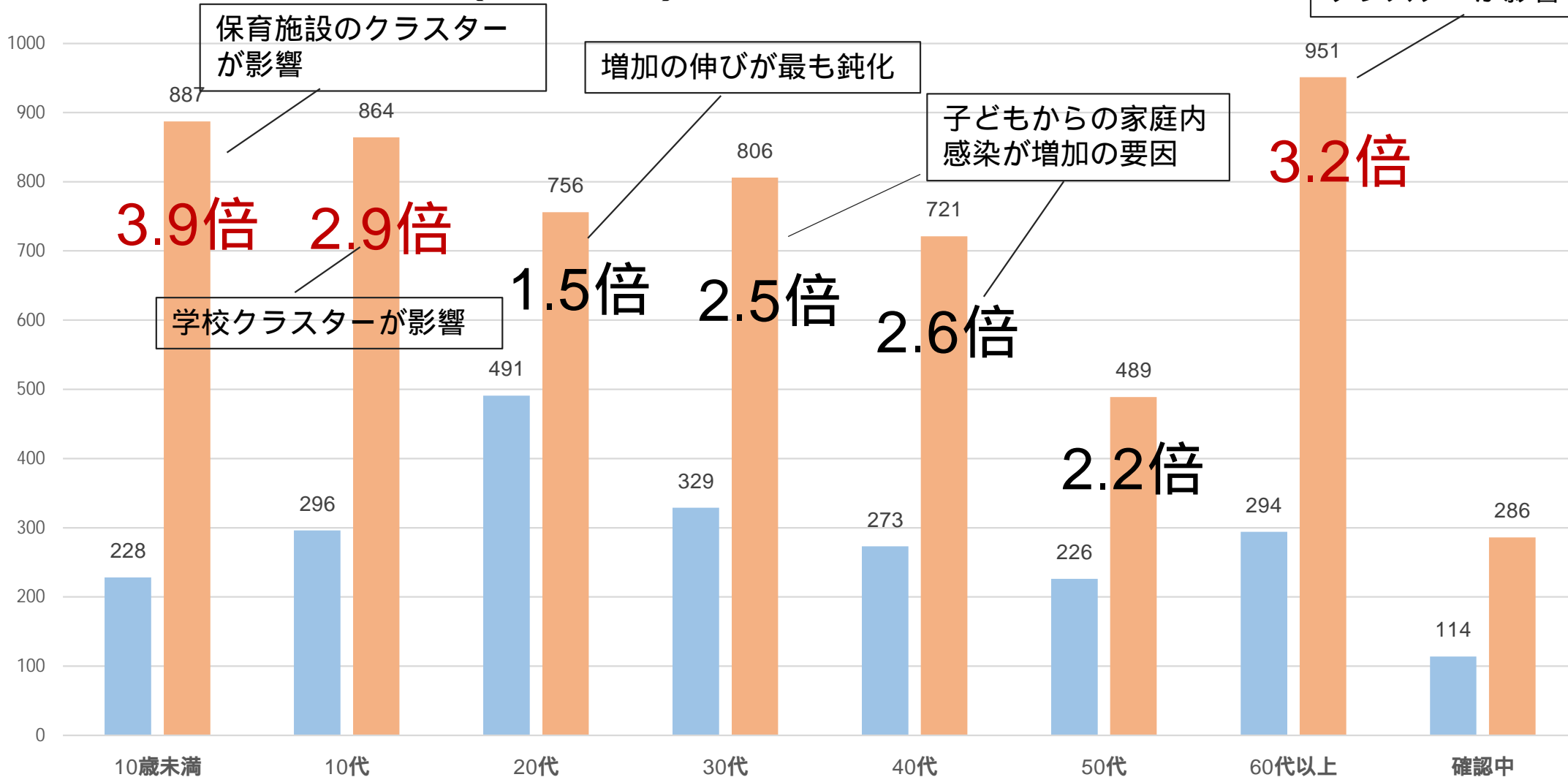


クラスターの発生状況（公表日別）

	飲食	高齢者福祉施設	病院施設	学校	児童福祉施設
1/10～1/20	10件	2件	1件	2件	4件
1/21～1/31	3件（ 7）	8件（+6）	6件（+5）	5件（+3）	17件（+13）

新規感染者における年代別の推移

まん延防止等重点措置 以前（1/10～1/20）と
以降（1/21～1/31）の11日間比較



人流の状況 (まん延防止等重点措置 ~)

重点措置前1/14 ~ 1/20 同一曜日との比較

- 重点措置後、昼夜問わず**繁華街**の人流は減少
特に、**夜の繁華街**における人流は大幅に減少

昼間 (15時)

	1/21 (金)	1/22 (土)	1/23 (日)	1/24 (月)	1/25 (火)	1/26 (水)	1/27 (木)	1/28 (金)	1/29 (土)	1/30 (日)
長崎 (浜町商店街周辺)	16.5%	13.5%	41.0%	14.8%	0.8%	28.4%	4.0%	2.0%	22.8%	20.2%
佐世保 (四ヶ町商店街周辺)	4.3%	30.9%	0.8%	5.4%	2.8%	5.9%	4.9%	4.2%	29.4%	9.1%

夜間 (21時)

	1/21 (金)	1/22 (土)	1/23 (日)	1/24 (月)	1/25 (火)	1/26 (水)	1/27 (木)	1/28 (金)	1/29 (土)	1/30 (日)
長崎 (思案橋周辺)	58.9%	42.3%	40.7%	1.9%	14.4%	34.1%	50.5%	43.1%	55.7%	53.5%
佐世保 (四ヶ町商店街周辺)	17.4%	40.6%	3.7%	0.9%	9.9%	42.8%	33.2%	24.9%	40.8%	33.0%

まとめ

- ▶ まん延防止等重点措置に基づく対策の実施により、**新規感染者数の伸びは徐々に緩やか**になっているものの、**感染者数は高止まり**の状況
- ▶ 特に、最近では**高齢者福祉施設や学校、児童福祉施設等で感染が増加傾向**で推移しており、まん延防止等重点措置に基づく対策の継続に加え、こうした施設等における**感染対策の徹底・強化**が必要

福祉施設(介護・障害)における対応

▶ 施設内における基本的な感染防止対策等について改めて呼びかけ

▶ 県大規模接種センターに施設入所者・利用者及び職員の優先枠を設けて追加接種を実施 接種券なしで接種可

▶ 施設においてクラスターが発生した場合、感染拡大防止や施設機能維持のため各種対策を実施

- ・県によるDMAT(災害派遣医療チーム)、COVMAT(集団感染対策チーム)の派遣
- ・県とクラスター発生施設において、日々オンライン会議を実施し、状況把握うえ必要な情報を提供
- ・県と施設団体の覚書による、他の施設からの人材派遣

学校等における対応

県立学校においては、**接触機会の低減(感染リスクの低減)及び感染発生時の影響を最小限に留める(分断点を作る)**ため、以下の取組の徹底を図るとともに、市町教育委員会に対し取組の徹底を改めて呼びかける

学校活動

- ▶ 児童生徒本人はもとより、同居家族に発熱等の風邪症状がみられる場合は登校は控えるよう徹底
- ▶ 原則として分散登校及び時差登校(離島地域等では、生徒数、生徒の通学時の交通手段等に応じて通常登校も可とする。)
- ▶ 校内における教室の分散等授業、学年や学級が交わらないよう適宜配慮して実施
- ▶ 音楽の合唱・合奏、理科の実験、体育の実技などの感染リスクの高い活動の中止又は座学への振り替え

部活動

- ▶ 部活動を停止(～2/13) 公式戦への参加や準備を除く

児童福祉施設における対応

▶ 施設内における**基本的な感染防止対策**や**職員の健康管理の徹底**について改めて呼びかけ

- ・マスクの着用、手指消毒
- ・室内の換気、できる範囲での密の回避
- ・職員・園児の検温、健康管理
- ・体調が少しでも悪いときは、出勤や登園を控える

施設の休園等に伴う子どもの世話のために親が安心して休暇を取得できる環境を整えるため、**事業者に対し、国の助成金制度（小学校休業等対応助成金）**を周知

小学校休業等対応助成金

臨時休業等により保護者として子どもの世話を行う必要が生じた労働者に対し、有給休暇を取得させた事業者に、国が対象労働者の日額換算賃金額を支給する制度

▶ 県大規模接種センターに**施設職員（ ）の優先枠**を**設けて追加接種**を実施（**接種券なしで接種可**）

保育所、幼稚園、認定こども園、児童養護施設等の職員

まん延防止等重点措置 (県内全域、2月13日まで)

県民の皆様

外出移動

- 不要不急の外出を控える
- 午後8時以降、飲食店にみだりに出入りしない
- 県外との不要不急の往来は控える

会食

- コロナ対策認証店を利用
- 普段一緒にいる方と4人以内かつ2時間以内で
- 会話をするときにはマスクを着用
- 営業時間短縮要請に応じていない飲食店等の利用は控える

その他

- 基本的な感染防止対策の徹底

事業者の皆様

飲食店

- 午後8時までの営業時間短縮
- 終日、酒類の提供を行わない

施設 集客

- 入場者の整理、入場者へのマスク着用の周知等

イベント

- イベント、集会等は開催の中止・延期等を含めて慎重に検討

その他

- 開催する際の人数制限
- 県外出張の際は県外の方との会食を控える
- 出勤者の半減
- 職員の行動・健康管理の徹底
- 職場での感染防止対策の徹底

家庭内でもできる限りの感染防止対策を

こまめな**手洗い**

定期的に**換気**

(1時間に10分程度)

手で触れる**共用部分**
を**消毒**

(ドアノブ、電気スイッチ、トイレなど)

食べ物や飲み物、食器の
共用は避ける

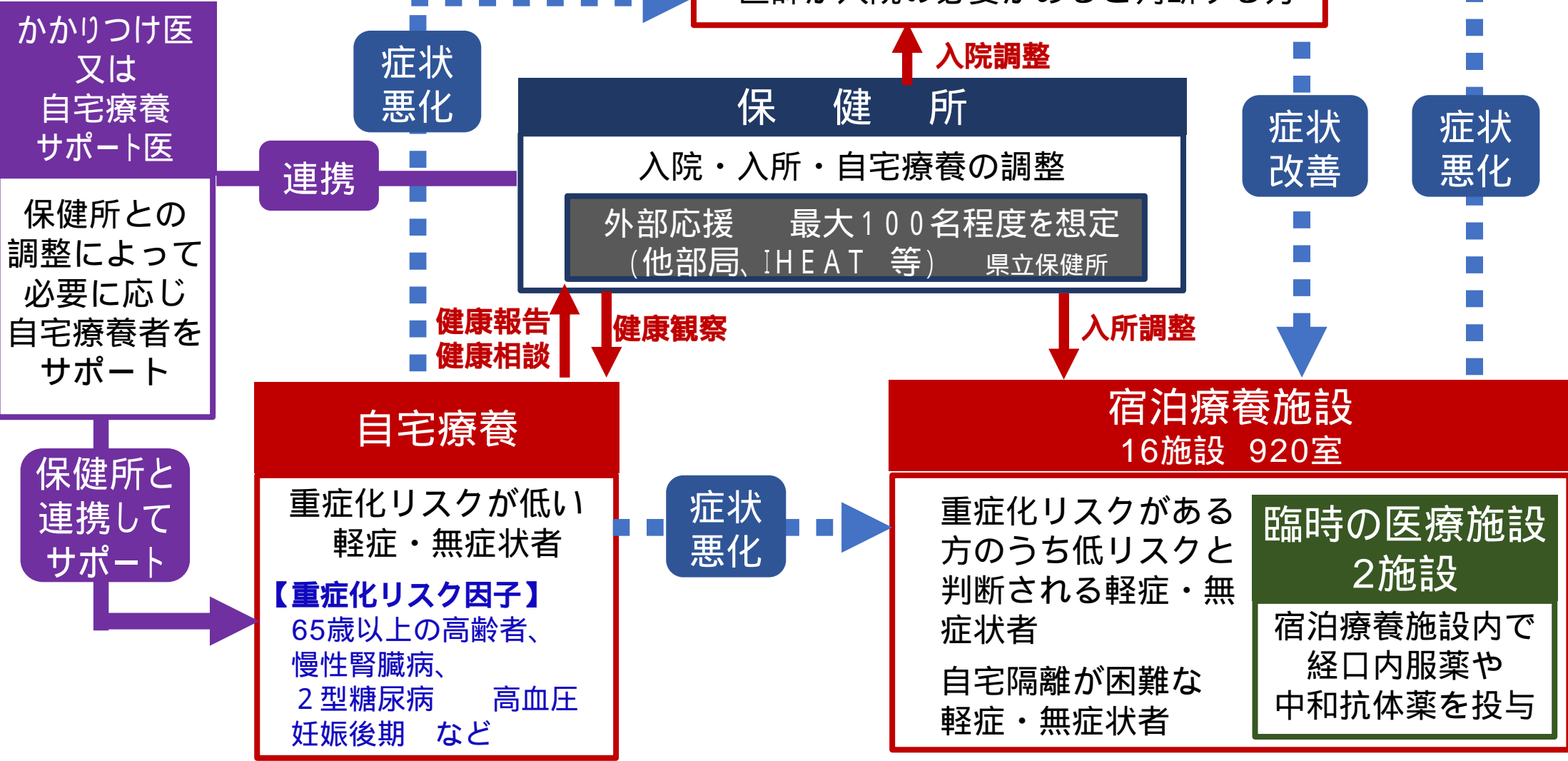
タオル、歯磨き粉の**共有**
は**避ける**

会話するときは**マスク**を
着用

体調が少しでも悪いとき
は、外出や会食を控え、
すぐに**医療機関に電話で**
相談

保健・医療提供体制等の強化

《自宅療養と宿泊療養施設 及び入院医療機関 との機能的連携》



保健・医療提供体制等の強化

《経口薬(ラゲブリオ)の投与体制の拡充》

- ▶ 経口薬は症状発現後、5日以内に投与する必要がある
- ▶ 取り扱い医療機関、薬局を増やすことで、受診した医療機関で処方し、近くの薬局から速やかに自宅へ届けることが可能となる
- ▶ 現状、経口薬は国からの安定的な供給が難しく、医療機関・薬局には1施設3人分しか備蓄できないため、取扱施設を増やすことが県内における経口薬の安定供給につながる

1月15日時点

342施設

人口10万人当たりの施設数

九州1位(全国8位)

1月24日時点

416施設 (74施設増)

1月31日時点

552施設 (136施設増)

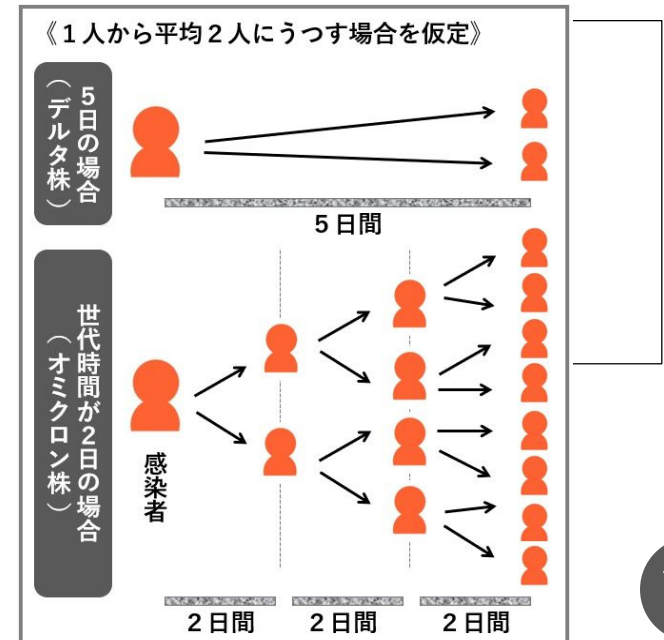
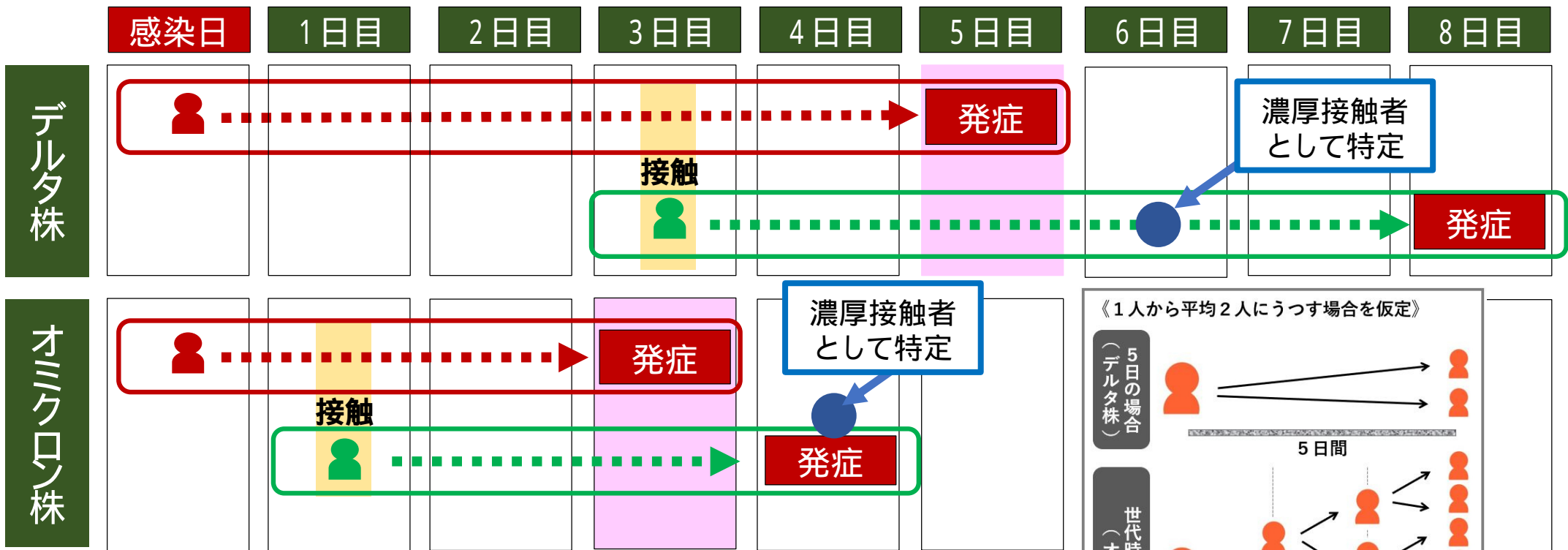
オミクロン株の特性を踏まえた対応

オミクロン株の特性

感染者が発症するまでの潜伏期間: 約3日 (デルタ株は約5日)

感染可能期間: 発症2日前 ~

保健所が接触者に連絡した時点で既に発症していることが多い



オミクロン株の特性を踏まえた対応

《積極的疫学調査の重点化》

- ▶ 保健所による積極的疫学調査の対象を重症化リスクが高い集団()や同居家族に重点化

介護・障害者施設、医療機関、高齢者や基礎疾患がある方など

- ▶ 事業者や団体等において濃厚接触者等の調査を行うことで濃厚接触者の特定を迅速化し、感染拡大を防ぐ

感染者1人あたりの濃厚接触者は約5人（国立感染症研究所等分析）
保健所が調査に入った時点ではすでに拡大 **迅速な対応が必要**

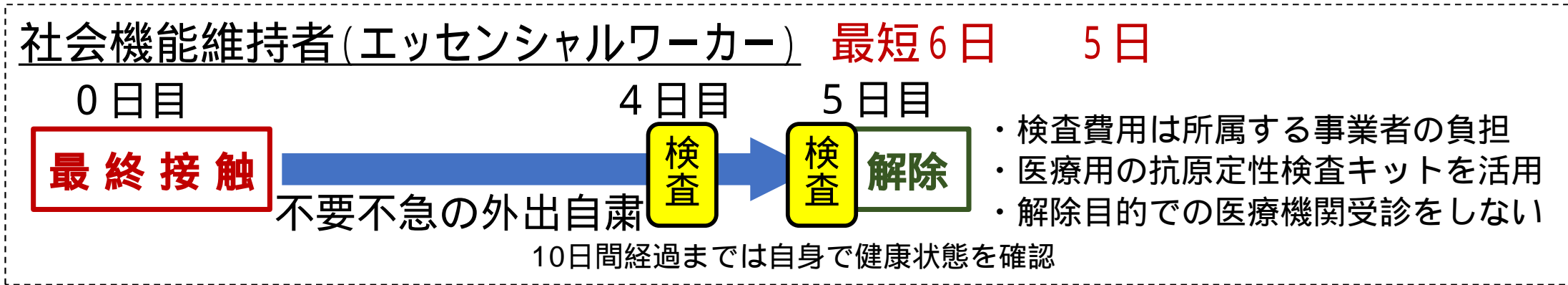
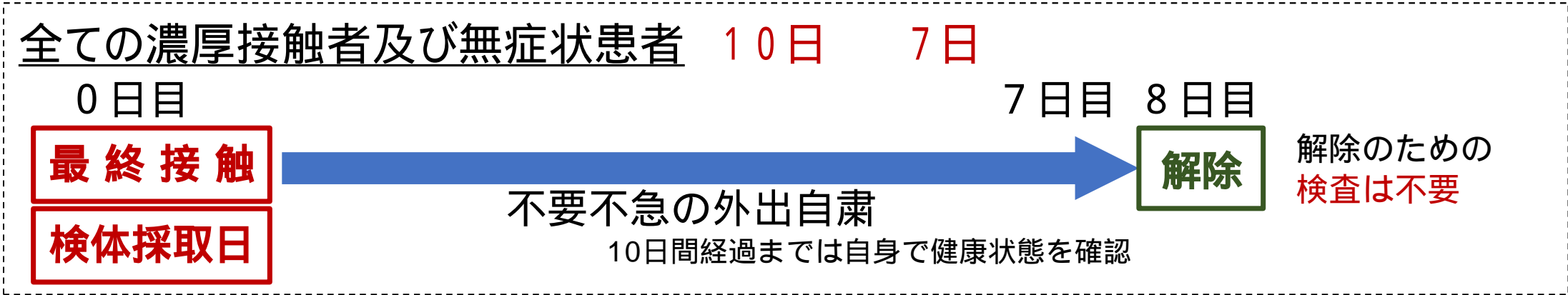
重症化リスクが高い集団等	介護・障害者施設、医療機関、高齢者や基礎疾患がある方、同居家族等	保健所による積極的疫学調査
それ以外	上記以外	事業所等による濃厚接触者等調査 迅速化し感染拡大を防ぐ

オミクロン株の特性を踏まえた対応

オミクロン株の特性

オミクロン株はデルタ株に比べ、『発症までの潜伏期間』、『感染者のウイルス排出期間』ともに短いことが報告されている。

《濃厚接触者の待機期間、無症状者の療養期間の短縮》



オミクロン株の特性を踏まえた対応

オミクロン株の特性

オミクロン株はデルタ株に比べ**感染力が高く**、**家庭内での二次感染者が増加**

検査を待つことで**診断・療養開始に遅れ**

《同居家族の検査なしでの診断》

- ▶ 感染者の同居家族である濃厚接触者が有症状となった場合、**医師の判断で検査なしでの診断を可能**とすることで、**療養開始の遅れを防ぐ**
- ▶ 経口治療薬(ラゲブリオ)等の投与等、**医師が必要と判断した場合は検査を実施**

ワクチン接種の推進

《追加接種の前倒し》

医療従事者、高齢者施設等入所者・従事者：2か月前倒し

一般高齢者：1か月前倒し 更に1か月前倒し

その他一般：1か月前倒し 更に1か月前倒し

追加接種の時期 (2回目接種時期)	R3.12月 (R3.3月,4月)	R4.1月 (R3.5月)	R4.2月 (R3.6月)	R4.3月 (R3.7月)	R4.4月 (R3.8月)	R4.5月 (R3.9月)
医療従事者		← 2月前倒し可	← 2月前倒し可			
高齢者施設等 入所者・従事者		← 2月前倒し可	← 2月前倒し可			
一般高齢者			← 1月前倒し可 更に1月前倒し可(※)	← 1月前倒し可	← 2月前倒し可	
その他一般			← 更に1月前倒し可(※)	← 1月前倒し可 更に1月前倒し可(※)	← 1月前倒し可	

() 予約枠に空きがある場合

ワクチン接種の推進

《追加接種の状況》

3回目の接種状況

接種回数 **48,503回** 接種率 **3.63%** (全国平均3.54%)
(1月31日時点)

21市町の現状

- ▶ 高齢者施設等入所者及び従事者に対する6か月への前倒し
(12月開始: **1町** 1月開始: **20市町**) 2回目接種後6か月経過した方は接種可能ですので施設にご相談ください

県の取組

- ▶ 高齢者施設等従事者等に対し、県ワクチン接種センターに**優先枠を設けて接種**

保育所の保育士等	開始時期: 調整中
高齢者施設等従事者	開始時期: 2月7日 ~

県の大規模接種センター

実施期間	令和4年2月5日(土)~3月27日(日)
接種会場	長崎会場 : 県庁1階エントランス 佐世保会場 : レオプラザホテル佐世保

ワクチン接種の推進

《追加接種のオミクロン株に関する効果》

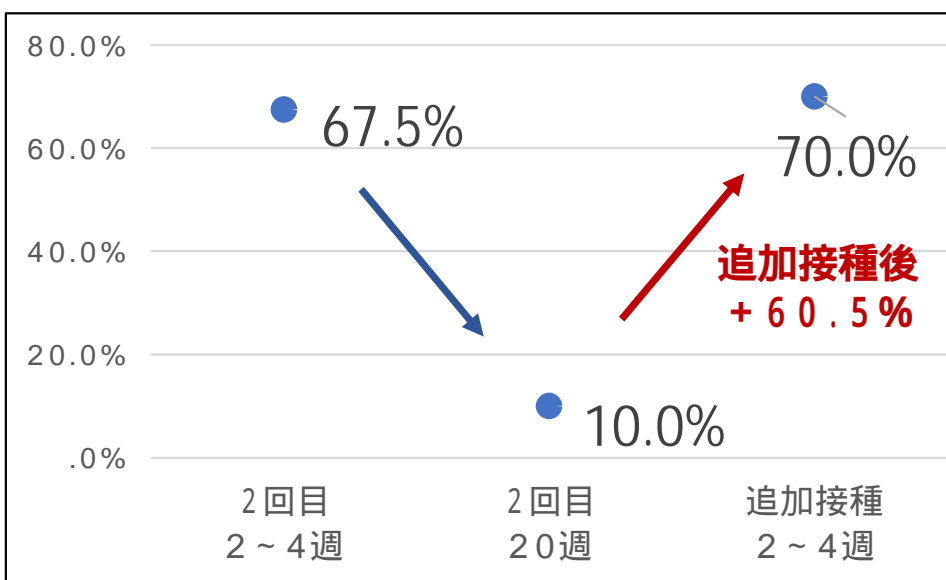
発症予防効果

オミクロン株に対する発症の予防効果

2回接種 2～4週後 67.5%

2回接種 20週後 10%程度

追加接種 2～4週後 70.0%



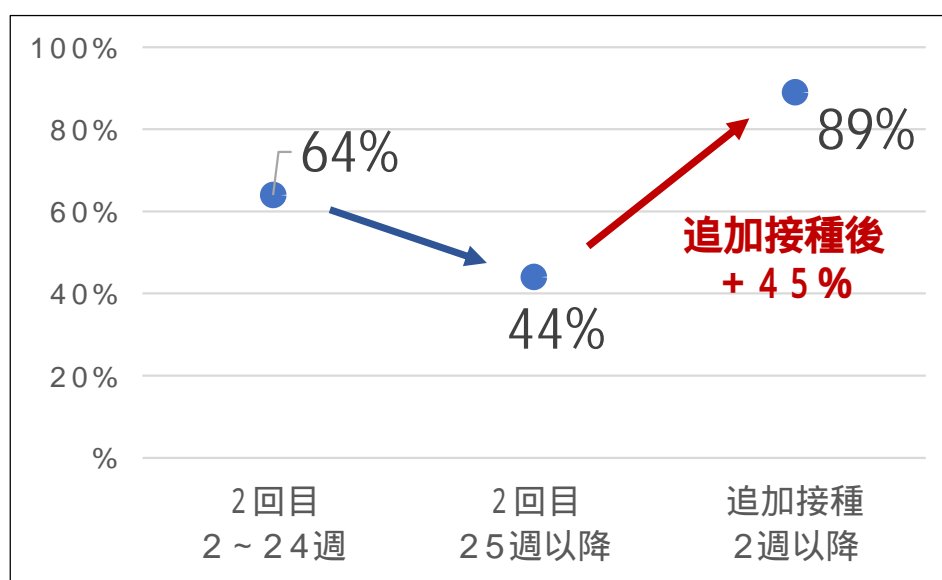
入院予防効果

オミクロン株に対する入院の予防効果

2回接種 2～24週 64%

2回接種 25週以降 44%

追加接種 2週以降 89%



ワクチン接種の推進

《交互接種の効果》

- ▶ 1回目、2回目とは異なるワクチンの接種(交互接種)によって抗体量の上昇が期待できる

ファイザー		モデルナ	
1回目	2回目	3回目	抗体量の上昇率
			31.7倍
			20.0倍

《交互接種の安全性》

- ▶ 交互接種を伴う追加接種の副反応は、1・2回目接種で報告された副反応と同程度であり、また、交互接種を伴う追加接種と、交互接種を伴わない追加接種の間で副反応は同程度との報告()あり

厚生労働省 第25回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会

【参考】

ファイザー・モデルナとも3回目接種後7日以内の副反応は、おおむね1・2回目と同様の症状が見られている

県民の皆様へ

25

あなたの行動（4つの挑戦 **H O M E**）が
高齢者や基礎疾患のある身近な人を守ります

- 1 少しでも体調が悪いときには、家を出るのを踏みとどまって
～症状がある方の外出や出勤による感染事例が
多く認められています～ (b e **H** o m e)
- 2 ご家族に会うときには、オンライン面会の活用を
～いくつかの福祉施設でクラスターが発生しています～ (**O** n l i n e v i s i t)
- 3 定期受診は間隔を調整して、かかりつけ医との電話診療の活用を
～医療従事者での感染事例も多く認め
られており、医療が逼迫してきています～ (o n l i n e **M** e d i c a l c a r e)
- 4 接種券が届き次第、1日でも早くワクチン接種を
～ワクチンの追加接種が
オミクロン株にも有効です～ (**E** a r l y v a c c i n a t i o n)